

経済建設常任委員長報告

委員長 五嶋 義行

経済建設常任委員会に付託された案件の主な審議内容です。

議案第39号 「令和4年度阿蘇市一般会計補正予算（第2号）について」

住環境課所管分

委員 被災宅地復旧支援事業補助

金（熊本地震復興基金分）の交付対象者の地区名と、この時期に補正予算計上となった理由は。

住環境課長

対象

地は内牧と的の石の2箇所です。これらは令和3年度に申請されたものですが、補助事業者である熊本県と支払時期について調整した結果、令和4年度に交付することとなりました。申請が遅くなった詳細な理由は把握しておりませんが、それ

建設課所管分

委員 道路維持費の工事請負費が

ぞれの生活再建状況によるものと思われま



道路維持施工状況

減額となった理由は。

建設課長

熊本県

への国の予算配分が、要望額の3割程度の配分となり減額となったものです。

委員

今回の予算

を見ると、社会資本整備の予算が大幅に減額されているように思う。市の事業計画に影響することも考えられ、市民の方々に納得していただくためにも、緊急性や必要性などを十分に考慮し、限られた財源を有効に活用してほしいと感じるが。

建設課長

必要とされる予算については、国にしっかりと要望していきたいと考えています。

観光課所管分

委員 内牧の花いっぱい事業花壇

整備等事業委託料が県の補助事業に採択されず減額となっているが、再度申請する予定はあるのか。

観光課長

引き続き申請します。

現在、内牧中央線の花壇は、地域の方々の協力で40区画が綺麗に管理されていますので、ホテル角萬前の交差点を中心に整備区域を広げていきたいと考えています。

委員 地域イベント助成事業補助

金（古代の里ヤマメ釣り大会）が減額されているものの、先日、大会自体は実施されたようだが。



内牧中央線の花壇

観光課長補佐 他の補助金を活用して、実施されました。

委員 このコロナ禍において疲弊した地域を盛り上げるためにも、このような催しは積極的に支援してほしい。

委員 新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつある中、宿泊客数はどの程度回復しているのか。

観光課長 日帰り客は8割程度まで回復しましたが、宿泊客は6割しか戻っていません。どちらも地震前と比べれば、さらに低い割合となります。

委員 仙酔峡や荻岳などの観光施設に付随するトイレの再整備を要望する。

まちづくり課所管分

委員 今年度の火の山まつりは、どのような規模のイベントとなるのか。

まちづくり課長 現在、実行委員会で検討を進めています。子ども神輿などは実施せず、規模は縮小される見込みです。なるべく多くの子どもたちが喜ぶような祭りになりたい。



2022 火の山まつり

と考えています。

委員 地域振興緊急対策事業補助金として計上されているプレミアム商品券の昨年度の販売実績は、

商工物産係長 令和3年度は2回実施し、1回目の販売割合は68パーセント、2回目は75パーセントでした。1回目は余剰分を阿蘇市内外の方々に購入していただきました。結果、

2日ほどで完売したものの、全ての購入希望者に行き渡らなかったため、2回目は余剰分の販売を行いませんでした。

農政課所管分

委員 畜産・酪農収益力強化整備事業補助金の補助対象事業者は、

農政課長から、事業体名と事業実施箇所について説明がありました。



プレミアム商品券（見本）

以上のような審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が、経済建設常任委員会に付託されました案件についての報告です。